

平成 30 年 (2018 年) 度 事業報告書

平成 30 年 8 月 1 日から令和元年 7 月 31 日まで



特別非営利活動法人
東京ノーヴィ・レパートリーシアター

1. 事業の総括

当年度、私たちは非常に重要な決定を選択しました。その内容は「さらなる飛躍をめざし、メンバー全員の再訓練の徹底と、これまでの活動の見直しをはかるため、1年間の公演活動の休止する」という内容でした。もちろんこの選択は簡単ではありませんでした。たとえば、経済面でも公演収入が激減するため大きな負担をおいいます。けれどもいろいろな試行錯誤を続けてきた、この10数年にわたる活動を振り返り、新たな一步のための準備を始めることは避けて通ることはできません。何回も話し合いを重ねた上での選択でした。そのため、すでに公演依頼を受けていた企画をのぞけば、大きな自主公演は行っていません。

※公演依頼を受けていた企画とは、2018年、ロシアで開催される二つの国際フェスティバルからの正式招聘公演、および翌2019年に山梨県北杜市教育委員会からの公演委託を受けていた公演があり「休止期間」と言っても実際には規模の大きな公演を幾つか行っています。

次年度の16シーズンには、梅若能楽学院会館での公演を軸に据えたレパートリープログラムを組んでいます。私たちは新しいトレーニングプログラムを始めるとともに、次年度のオープニング作品として選んだ、サン＝テグジュペリ作「星の王子さま」能楽堂公演のリハーサルに取り組みました。

16シーズンは、月ごとに作品を変えながら、能舞台と下北沢のアトリエで計10本(予定)の作品が上演されます。私たちの1年間の選択がどのように反映されるか。どうぞ、ご期待ください。

さて当年度においても、演劇の普遍的なテーマである「人間の精神生活の追求と表現」ということについて、再度、触れたいと思います。——今、ますます重要性をもって問われるようになってきました。これは、演劇が現代社会から求められている課題です。演劇は“人間の精神生活”を表現することを通して、いつも時代を支えてきました。けれども、あたかも爆発するかのような勢いで加速、発展するテクノロジー社会は、人々の生活の中から急速な勢いで“人間の精神生活”を追いやっています。まさにチエーホフが「桜の園」の中に描いたように、時代はつねに「発展しながら、一方で失っていく」という構図を抱えてきました。「発展」は避けられない法則です。その中で「今、何を選択するか？」は、私たちにとって今もっとも重要な課題だと思われまます。

私たちが描く未来は、多くの方々の助けがなければ辿り着くことはできません。今後とも皆様のご賛同、ご協力をいただけることを心より願っております。

理事長 岡崎弘司

2. 事業の実施に関する事項 (特定非営利活動に関わる事業)

<演劇の公演事業(定款5条-1)>

【注】原則として、ここでは主に「自主企画公演を中心とした活動」を取り上げています。

「地域との連携活動による依頼公演」は「地域文化支援事業」、海外公演などの「国際交流活動に基づく公演」は「国際文化交流事業」というように、それぞれの活動の趣旨にもとづき、該当する事業活動の中で紹介しています。

■ 古典の素晴らしさを多くの人々に広めるための活動 (レパートリー公演活動)

どの芸術ジャンルにおいてもそうですが演劇にとっても「古典作品」は人類の財産といえます。私たちは厳選された古典作品をレパートリーとして取り上げ、心と感情で体験できる舞台芸術として昇華させ、多くの人々に鑑賞してもらう活動を行っています。

当年度は、翌 2019 年 10 月より始まる第 16 シーズンの公演プログラムの準備活動を行ったほか、下北沢演劇祭では、スタニスラフスキースタジオによる「バリヤガンガーラ」上演と、元メンバーで現在、警女唄奏者として活動している小関敦子さんに協力してもらい、「警女さんの足音」公演を行いました。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額
演劇の公演事業	<古典の素晴らしさを多くの人々に広めるためのレパートリー公演活動> サン＝テグジュペリ作『星の王子さま』公演の準備とリハーサル 【下北沢演劇祭参加作品】 「バリヤガンガーラ～笑いのない町」公演 【下北沢演劇祭参加作品】 「警女さんの足音」公演	(通年)	東京ノーヴィ・レパートリーシアター (東京都世田谷区)	40 人	一般 不特定多数	3,856 (千円)
		平成 30 年 2 月 14～17 日 (4 公演)	東京ノーヴィ・レパートリーシアター (東京都世田谷区)	12 人	一般 100 人	
		平成 30 年 3 月 2～3 日 (2 公演)	東京ノーヴィ・レパートリーシアター (東京都世田谷区)	4 人	一般 45 人	

<演劇芸術に関わる人材育成支援事業（定款 5 条-2）>

【注】原則として、ここでは「地元本拠地で、年間継続して行っている人材育成支援活動」を主に扱い、「地域からの要請で開催されるワークショップ活動など」は「地域文化支援事業」の欄で扱っています。

1) アカデミーの運営による芸術家育成活動（定款 5 条 2 項 (7) 演劇芸術に関わる教育機関の運営）

私たちは、スタニスラフスキーシステムの研究および人材育成機関として、「東京インターナショナル・スタニスラフスキー・アカデミー」を開校しています。「演技コース」に加え「映像コース」を併設しています（主任講師兼アカデミー校長：ロシア功労芸術家、レオニード・アニシモフ／映像コースの担当講師は『かみさまのやくそく』の映画監督、荻久保則男氏）。当年度は、第 6 期生を対象に開校しました。

2) 演劇クラスを通しての社会人支援活動（定款 5 条 2 項 (4) セミナー、ワークショップの開催）

「スタニスラフスキー・スタジオ」と名称を変え、一般の方たちが、より高度で本格的な演劇活動に参加できる場所として運営されています。（スタジオ指導者：菅沢晃）

当年度は、スタジオのレパートリーである「バリヤガンガーラ～笑いのない町」を、下北沢演劇祭で上演しました。（詳細は、「公演事業」を参照ください）

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額
演劇芸術に関わる人材育成支援事業	【演劇芸術に関わる教育機関の運営】 「東京インターナショナル・スタニスラフスキー・アカデミー」 日本で唯一、ロシアの一流演劇大学と同じ水準でスタニスラフスキー・システムを学ぶことができる、本格的なアカデミーを開校、運営（当期は、第 6 期生対象）。	通年	東京ノーヴィ・レパートリーシアター (東京都世田谷区)	8 人	一般 22 人	8,907 (千円)
	【セミナー、ワークショップの開催】 <「スタニスラフスキー・スタジオ」の運営> アイルランドの劇作家 T・マーフィー作『バリヤガンガーラ～笑いのない町～』上演。並行して、加賀乙彦原作の長編小説『宣告』の舞台化を進める。	通年	東京ノーヴィ・レパートリーシアター (東京都世田谷区)	7 人	一般 5 人	

<演劇芸術に関する情報発信事業（定款5条-3）>

国際シンポジウム（定款5条3項（イ）演劇芸術理論及び技術に関する研究とその成果の発表）

上智大学グリーンケア研究所・科研が継続して開催している「身心変容技法研究会」において、当団体の芸術監督 L・アニシモフが講演者として参加。最終日には「演劇における身心変容技法」というテーマでの講演を行いました。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額
演劇芸術に関する情報発信事業	【演劇芸術理論及び技術に関する研究とその成果の発表】 国際シンポジウム「身心変容のワザと哲学」 11月30日 討論研究会 12月1日 一般公開国際シンポジウム 12月2日 研究会「演劇における身心変容技法」	平成30年 11月30日～ 12月2日	上智大学 L号館/四谷キャンパス (東京都千代田区)	2人	一般 不特定多数	0 (千円)

<演劇芸術を通しての国際文化交流事業（定款5条-4）>

当年度は、平成30年11月に、劇団員がほぼ総勢で参加する大規模なロシア公演を行いました。

ドストエフスキー『白痴』がノヴゴロド市「第22回ドストエフスキー作品による室内劇国際演劇祭」に、日本神話『古事記』がモスクワ音楽院より「第20回“日本の心”国際音楽祭」へ正式に招聘されました。特に2018年は「ロシアにおける日本年」にあたるため、今回のロシア公演は、日本外務省主催の「ロシアにおける日本年」事業として認定を受けました。

今回のロシア公演のためにクラウドファンディングで資金協力を仰いだ結果、有難いことに多くの方々からご助力をいただくことができました。続いて渡航直前の10月末には梅若能楽堂をお借りして、平和への祈りを願った「古事記～祈りをつなぐ旅～」の奉納公演を実施。多くの人に励まされ、全行程約2週間におよぶロシア公演を敢行しました。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額
演劇芸術を通しての国際文化交流事業	【世界各国の文化芸術団体との国際交流】 「古事記～祈りをつなぐ旅～」奉納公演～能楽堂から世界へ～	平成30年 10月28日 (1公演)	梅若能楽学院会館 (東京中野区)	40人	国内 一般市民 300人	8,313 (千円)
	【世界各国の文化芸術団体との国際交流】 (第22回ドストエフスキー作品による室内劇国際演劇祭) ドストエフスキー『白痴』招聘公演	平成30年 11月11日 (1公演)	ドストエフスキー記念アカデミー ドラマ劇場 (ロシア国ノヴゴロド市)	40人	ロシア 一般市民 800人	
	【世界各国の文化芸術団体との国際交流】 (第22回ドストエフスキー作品による室内劇国際演劇祭) 『古事記』招聘公演	平成30年 11月12日 (1公演)	カゴロトフィルハーモニー劇場 (ロシア国ノヴゴロド市)	40人	ロシア 一般市民 628人	
	【世界各国の文化芸術団体との国際交流】 (第20回“日本の心”国際音楽祭参加) 『古事記』招聘公演	平成30年 11月14日 (1公演)	メイルホトセンター (ロシア国モスクワ市) (予定)	40人	ロシア 一般市民 350人	
	【世界各国の文化芸術団体との国際交流】 (第20回“日本の心”国際音楽祭参加) 『鉄輪恋鬼輪舞』招聘公演	平成30年 11月19日 (1公演)	モスクワ音楽院ホール (ロシア国モスクワ市) (予定)	40人	ロシア 一般市民 252人	

<演劇芸術を通しての地域文化支援事業（定款 5 条-5）>

1) 山梨県北杜市「八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン」事業

山梨県北杜市では、長野県富士見町・原村と結んだ「『八ヶ岳定住自立圏』形成に関する協定」により、様々な分野での取組みを進めています。北杜市教育委員会からの要請を受け「八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン」の事業に協力する形で公演を実施しています。

当年度は、昨年の5月に梅若能楽学院会館で上演、「東洋と西洋の融合」として高い好評をいただいたチーフホフ作『桜の園』を上演しました。

2) 安養院奉納「古事記」公演

真言宗豊山派寺院の安養院は、鎌倉中期正嘉元年（1257）に、最明寺北条時頼が諸国行脚のみぎり、持仏「摩利支天」を此地に安置し一字を建立して創建されたと伝えられる由緒のある寺院です（WIKI より引用）。

当年度、安養院の本堂において、「古事記」作品を奉納公演させていただきました。多くの方々から「神道的な内容の舞台が、仏さまが安置されている本堂で上演され、それが何の違和感もなかっただけではなく、たいへん深く感銘を受けた」と高い評価をいただきました。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額
演劇芸術を通しての地域文化支援事業	<八ヶ岳定住自立圏 演劇鑑賞・体験交流促進事業> 北杜市教育委員会からの招聘を受けて、公演の実施および、演劇ワークショップを開催した。 チーフホフ作「桜の園」公演 演劇ワークショップ	令和元年 6月29日 (1公演) 6月30日 (1回)	八ヶ岳やまびこホール (山梨県北杜市)	40人 (公演) 5人 (WS)	一般市民 (公演) 415人 (WS) 50人	2,033 (千円)
	<安養院奉納公演> 「古事記」奉納公演	令和元年 5月25日 (1公演)	安養院 (東京都板橋区)	40人	一般市民 300人	

<演劇芸術に関わるネットワーク構築事業（定款 5 条-6）>

当年度、実施せず。

<その他、目的を達成するために必要な事業（定款 5 条-7）>

当年度、実施せず。